

○北茂安中学校の歴史 パート 13

ふるさと佐賀、ふるさと北茂安に対し愛着と誇りをもってもらいたいという願いから、歴代校長先生とその当時の職員、当時の学校の様子について紹介しています。今回は13回目ということで、第13代校長藤光純男先生とその当時の様子について紹介します。

第13代校長 藤光純男 先生は、昭和60年から62年度までの3年間本校在職でした。当時の主な出来事としては、日航機が御巣鷹山に墜落した事故(S60,8)が起きました。この年、電電公社が民営化されNTTに日本専売公社がJTとなりました。また、ショルダーホンとよばれる重さ3kgある携帯電話(自動車用)が発売されました。ちなみに、初期費用約23万円(保証金)、月額基本料金2万6千円(通話料別)がかかったそうです。昭和61年はハレー彗星が76年ぶりに観られました。学校関係では、**本校PTAが文部大臣表彰(S60)**、プール落成(S61,3)、**全国中学生剣道選抜大会優勝(S62,8)**しています。また、全国大会優勝を記念して校舎前の「**栄光の碑**」が建立(S63,3)され、除幕式が行われました。

このころのアルバムをみると16の部活動があり、男子バレー、美術、男子テニス、ソフトボール、柔道は、現在募集していません。

第13代校長 藤光純男先生 S60~62年



昭和61年度 教職員



出来事

- PTA全国表彰 H60
- プール落成 S61.3
- 全国中学生剣道選抜大会準優勝 S61
- 優勝 S62
- 「栄光の碑」建立 S63.3

現在の栄光の碑




